

学習指導案

府立阿倍野高等学校
指導教諭

1. 日 時 平成26年10月29日(水) 6限(14:20～15:10)
2. 対 象 第1学年4組 20名(男子7名 女子13名)
3. 科 目 名 英語表現 I
4. 使用教材 使用図書
教科書 Vision Quest English Expression I standard (啓林館)
問題集等 Vision Quest English Expression Workbook (Advance / Standard)
Vision Quest 総合英語
英文法ワークショップ (桐原書店)
データベース 3000 基本英単語・熟語 3rd edition (桐原書店)
5. 単 元 名 Lesson 7 It's very nice of you to say so. [不定詞]
6. 単元について
 - (1) 単元観 本単元では、様々な不定詞の用法を含む表現を取り扱い、演習を通して理解・定着をはかる。項目としては中学時代にも既に学習してきているが、実際に自分の意見や考えを表現する際に役立つ項目も多い。
 - (2) 生徒観 「略」
 - (3) 指導観 学習習慣の確立と基本事項への理解にとどまらず、演習や生徒間同士での教え合いなどを通して、お互いに学び合いながら自己表現を行う機会を作り積極的な学習意欲を育てたい。

7. 単元の目標

- ・不定詞の用法、意味を確認した上で、不定詞を含む様々な表現を学習し理解をする。
- ・情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定し、与えられた話題について即興で話したり、目的に応じて、簡潔に書いたり、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ発表するような言語活動を英語で行う。

8. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
ペア・ワークやグループ・ワーク活動に積極的に参加し、自分の考えを主体的に話したり、コミュニケーションを円滑にする表現を使いながら、相手の話を聞いたりしている。	見たり聞いたり英文の内容に関するものについて、自分の気持ちや考え・意見を即興で伝えることができる。発音やリズムを適切につかみ、発話や音読をすることができる。	Exercises, work などの演習を通して、学習項目を理解し定着することができる。英文の内容やそれに関する話題について英語で聞いたり読んだりして話し手や書き手の意図を理解することができる。	機能と場面を考慮に入れて、必要な語彙・発音、様々な不定詞の用法に関する知識を理解し、それを使うことができる。

9. 指導の計画（全6時間）

第1時：導入、不定詞①

第2時：不定詞①、②（本時）

第3時：不定詞②、③

第4時：不定詞③

第5時：不定詞まとめ、Expressing 1

第6時：不定詞まとめ、Expressing 2

10. 本時の目標

- ・ペア・ワークやクラス全体での活動に積極的に参加し、自分の考えを主体的に話したり、コミュニケーションを円滑にする表現を使いながら、相手の話を聞いたりする。
- ・不定詞の用法、意味を確認した上で、SVO+to 不定詞を含む英文を学習し表現の幅を広げる。

11. 本時の学習の展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び理解の 不十分な生徒へのてだて等	評価			
			関	表	理	知
10分 導入	・挨拶 ・small talk ・単語小テスト ・例文の音読	・挨拶する ・授業に入っていきやすいような雰囲気を作る。 ・語彙力をつける ・正しい発音を意識して英文のイメージを持ちながら音読する。	○ ○ ○ ○		○	○
35分 展開	・不定詞（1）ワークの問題演習 ペアで疑問点を確認 全体で確認 ・不定詞（2）教科書の問題演習 ● enable + O + to do ● want + O + to do ・不定詞（2）で扱った例文を使用して応用演習	・共通の疑問点について、全体にフィードバックする。 ・生徒に質問をしながら簡単な英語で言い換えをして、生徒の理解を助ける。 ・演習問題で確認した表現が使われそうな場面設定を行い、定着を図る	○		○	○
5分 まとめ	・本日の学習の要点を確認する。 ・次回までの宿題を確認する。	・学習内容を整理して伝える。 ・次回までの宿題を伝える	○			○